

追悼

[編集後記にかえて]



本学会の名誉幹事である高萩保治先生（東京学芸大学名誉教授、ISMIE国際音楽教育協会元会長、日本音楽教育学会元会長）が、10月2日、ご逝去されました。享年88歳。高萩保治先生は、東京学芸大学などで広く教鞭を取られるほか、公益財団法人「音楽文化創造」の設立に深く関わられました。本学会の設立にも並々ならぬご尽力をいただき、その後も多岐に渡りご指導いただきました。

本学会歴代代表幹事からの、哀悼と感謝の言葉をここに表し、皆様と共に、心よりご冥福をお祈り申し上げたいと思います。（阿方）

高萩先生への謝辞

高萩先生が逝去されたとお知らせを受け、先生の学会への御貢献の多大さに今改めて思いを致しております。電子キーボード音楽という、領域や境界の曖昧な分野を、学会というかたちに組織化することで、人々の認識を広めると同時に、この世界で多様な活動に従事している人たちを一つの場を集めることで、情報の交流と相互の切磋琢磨を促し、この分野の更なる発展・展開を図る。こうした発想は、高萩先生の豊かな知見と経験が無ければ生まれてこなかったのではないのでしょうか。謂わば学会の産みの親、先導者とも見做すべき先生を、この時期に喪ったことに、深い失意を覚えるのは私のみではないでしょう。

私たちは、先生が学会に付託された思いを、今改めて想起し向後の進路の燈明として見つめなければなりません。そのみが、先生の学会への御貢献に感謝し僅かでも先生の御冥福に資する道だと思います。

平成 28 年 10 月

吉田 泰輔

高萩先生やすらかに

先生は大学の先輩であるばかりでなく、私が長年非常勤として勤めた東京学芸大学、日本電子キーボード音楽学会、また海外の音楽関係者へご紹介いただくなど、本当に多くの面でお世話になりました。いつも大変エネルギーに仕事され、議員立法による「国際音楽の日」の制定に至る活動は、傍で拝見していて音楽家として稀にみる人との印象を持ったものでした。本学会もそうした先生の支援があって誕生したものと思っています。またアジアから初めて ISME の会長になられて、日本の音楽教育水準を更にジャンルを問わずに高めようとされる姿に感銘を受けて参りました。

先生、天国からいつまでも私たちの活動をお見守りください。

前代表幹事 柳田孝義

お別れのことば

高萩保治先生に謹んでお別れのご挨拶を申し上げます。

思い起こせば、先生に初めてお目にかかりましたのは、全日本電子楽器教育研究会の活動が全盛期の頃でした。素晴らしい経歴と実践、実行力をお持ちの教育熱心な先生で日本の音楽教育界の大御所的存在でした。また、本学会の立ち上げから長年にわたりご尽力いただきました。

学会以外では、2008年より平成音楽大学客員教授にとして本学にご就任いただき、

「発想を変えよう音楽科の学習 音でコミュニケーションする創造的な楽しい音楽学習へ」

のテーマで音楽教育の講演を開催していただきました。教職員、学生ともに先生の教育者としての偉大さを感じたものでした。

先生が生涯をかけて築かれた実績は私たちにとりましても、これから音楽を目指す者にとりましても素晴らしい大きな財産です。今後も音楽界の後人の育成に繋げていかなければならないと思っております。

高萩先生への思いは尽きませんが、安らかにご永眠されますよう衷心よりお祈りいたします。

日本電子キーボード音楽学会 代表
学校法人御船学園 平成音楽大学 理事長・学長
出田 敬三

2004年10月2日 昭和音楽芸術学院（現昭和音楽大学北校舎）
で開催された本学会設立準備大会にて、基調報告中の
高萩先生



【設立大会のひとこま①】



設立準備委員の顔ぶれ

学会設立準備委員会：前列左から2人目が高萩保治先生